

洗面台の下の水漏れの補修

【注意】 ウォータープライヤーは、管理事務所にあります

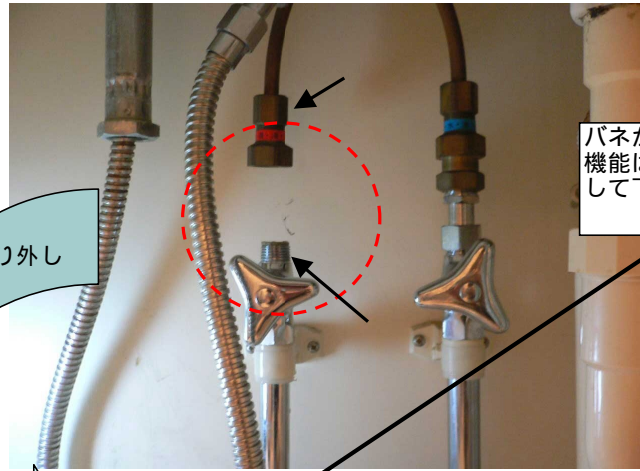
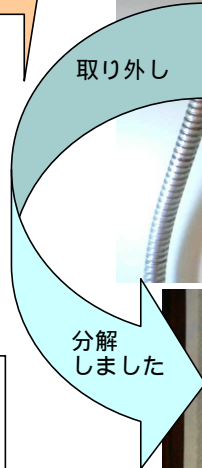
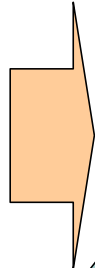
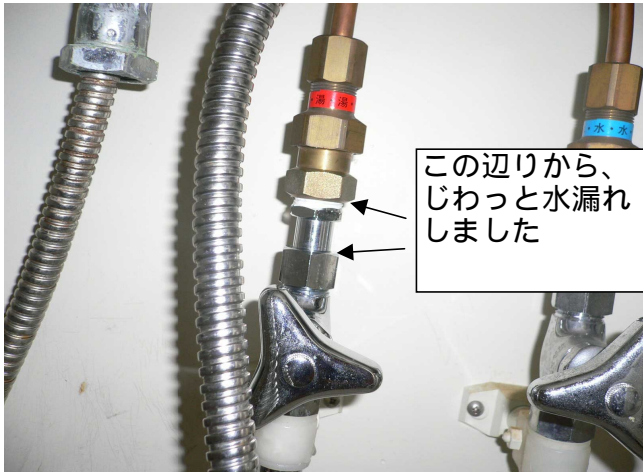
【注意】 この手順書はあくまで参考です。交換は、自己責任でお願いいたします。

1. 取り外し

さあ、水漏れを発見しました！

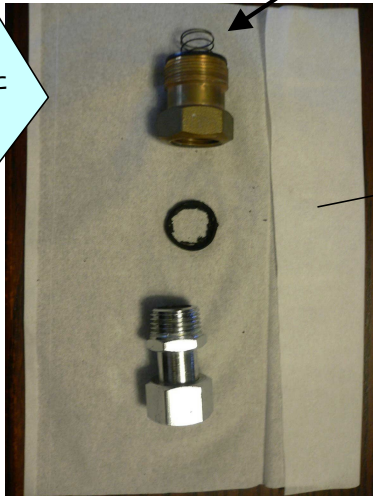
増し締めで直らない場合は、シールの劣化が考えられます。
いっちょ、やってみましょうか。

まずは、水が漏れている部分を分解しましょう！



【注意！】

上下パーツは、ボルト・ナット式ですので、スパナやウォータープライヤーを上下にかけ、回してください。
上だけ、或いは下だけにスパナ等をかけて回すと、良くないことが起こるかも知れません。



部材 の中に入っているゴムシールです。
長年の温水使用で、ぼろぼろでした。
部材 をはずした時のクズが部材 にもひっついて残りますので、これをしっかり除去してください。
爪楊枝などでこすれば、だんだんに綺麗になってきます。

2. 組み付け準備

部品をはずしましたので、シールを取り合えて、再度組み付けです。
(私の場合は、部材 は、 のパイプにしっかり張り付いていました。)



交換部品は、
黒いパッキン【部材 (写真)】と、
水色のパッキン【部材 (写真)】です。
今回はお湯が通る側の補修という事で、部材 はお湯用ですが、部材 についてはサイズの合う物がありませんでした。
購入した部材 (写真) は20mmですが、もしかすると22mmのほうがピッタリかもしれません。
お湯用のパッキンである部材 は18.5mmと24mmの二種類がありました。購入したのは18.5mm (写真) を購入しました。
ちなみに、部材 (写真) の耐熱性は120 と書いてありました。ホームセンターで見ていると、耐熱性が80 のものもありましたので、適切なのが何度かは知りませんが、今回は120 をチョイスしました。

部材 (写真)、部材 (写真) 共に、下田にあるコーナンで購入しました。(品揃えが豊富です)

まず、部材 と部材 の二つを組み付けます。

部材 の中に、パッキン(部材)を水で濡らして押し込み、部材 をねじ込みます。

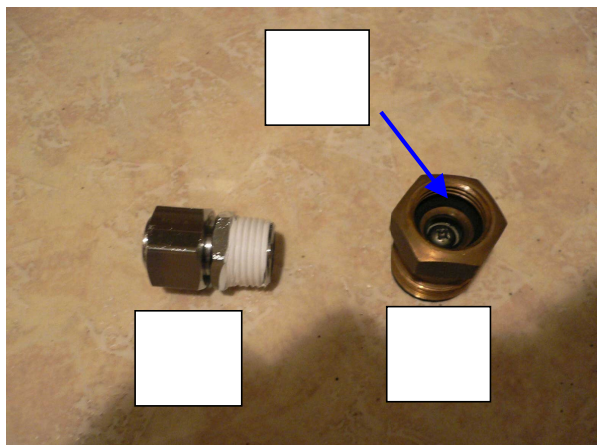
今回は、部材 のネジ部にシールテープ(部材)を巻きました

(必要かどうかはわかりません。もともと、シールテープは巻かれていませんでしたが、ホームセンターで売っている部材 と部材 のセット(今回は購入していません)には、シールテープも入ってました。)

締め付けは、思いっきりやらないほうがいいようです。

当然、緩くてはダメですが、ほどほどに、しっかり締め付けてください。

よく判らない表現ですが、そんなものだと思います。



シールテープ

3. 組み付け

部材 - の上部のパッキン部分に水を付けて、部材 に部材 - をねじ込みました。

手ですんなりねじ込んでください

(最初部材 - のネジの部分にもシールテープを巻いたのですが、上手くねじ込めなかったため、この部分のシールテープはやめました。

もともと、シールテープは巻かれていなかったもので、無くてもいいのでしょうか・・・。手抜きで無かったのかも知れませんが・・・)

そして仕上げに、スパナやウォータープライヤーで上下をはさんで、「クイッ」と締め付けてください

ここも、締め付けすぎないほうがいいかと思います。

ほどほどに、十分に締め付けてください。

そして、最後に、部材 - と部材 を締め付けます。

この時、部材 のパッキンを忘れないでください。

最初、締め付けは手で行ってください。

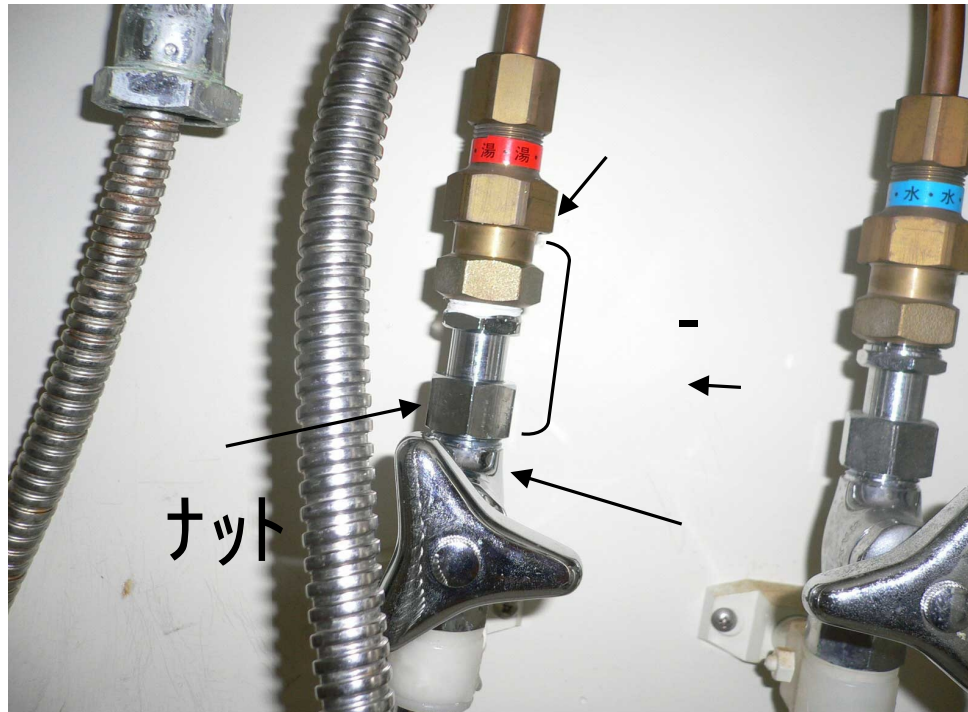
部材 - と部材 のセンターやら傾きやらが違っていると、ナット がねじ込めません。(無理やり締めるとねじ山がつぶれますよ。)

ねじ込め無い時は無理をせず、再度傾きを変える等して、しっかり手でねじ込んでください

(私の場合は、 のあたりを手で握って、少し左右にゆすりながらナット を動かし、手で締めていけるところを探しました)

手でねじ込めなくなったら、スパナやウォータープライヤーで上下をはさんで、「くいっ」と締め付けてください。

ここも、ほどほどに・・・。



以上で完了です。

下部のハンドルを回して水を通し、水漏れの無い事確かめましょう！

確かめるには、接合部にティッシュを巻きつけるなどすれば、良くわかります。

どうでしたか？

水漏れは大丈夫でしたか？

これでまた一つ、愛着のわく部分が我が家に増えました！